

夢幻夜伽詔



成年向



諸注意

以下の成分を含みます

・MUGEN

・東方

・エロ

・独自設定

また、今回の話は

以前にupした

『先代巫女と黒魅霊の薄い本』

id=23847323

の二次創作となります

もし宜しければそちらもどうぞ



別世界からの侵入者
戦闘に特化した黒衣の女

元の世界へ
突っ返すのが難しいから
あの娘に手伝って貰ったのは
いいんだけど



ある程度相手の位相を
ズラして
さあ隙間を開いて
送り返そうという場面で

まだ決着付けて
無いでしょうがッ！
邪魔すんなアアアア！

止められました

痛い！

その後結局
勝敗は決まらず
あの娘からも
「余計な事をするな」
と釘を刺される始末

向こうも
勝手にライバル認定でも
したのか
時折神社に現れては
勝負をふっかけて
お互いにポロポロに
なるまで殴り合い

しばらく観察に徹した所
「殴り合い」をした場合のみ
境界に歪が発生するらしい

つまり戦闘行為さえ
控えさせれば必然的に
解決するまでの時間を
稼ぐことが

何!? 紫!?
忙しいから
後でね!

この有様である

こうなっては仕方ない
「殴り合い以外で
勝負をさせてみよう」
と考えてみた

その結果——

キレた

お前ら
人の話聞けよ!

くわっ!



紫……
確かに殴り合い以外での
勝負でも構わないとは
言ったわ

紫にしては珍しく建設的な
提案だなあ
なんて感心したんだけど

あはは

そんな風に
考えた私が
本当に馬鹿だったわ



夜伽勝負って
どういう発想よ！

ゴルアッ!!

ああああの
自分はいきなり
連れてこられただけで
ななな何が何やら

あら？
実に平和的な
勝負方法だと
思うけど

脳味噌湧いてんのか！
ふざけんな！

ちなみに判定は
この男の子を使って
行います

えっと自分は一体
何をすれば……？

っ!?



只々拳を打ち合って
勝敗を決めるだけで
いいのかしら？

女性として
生まれたからには
女性として
勝たなければ

それにこの勝負なら
種族としての差を
殆ど考慮せずに
対等に渡り合えるでしょう？

そして黒服の貴方
「勝負事であれば
挑まれれば断れない」
みたいねえ



ゴゴ

そうか

ところで
紫の好きな臓器って何？

ゴゴゴゴ
ゴゴ

え？
何この砕く流れ

私今かつこいい
セリフ言ったよね

肝臓ぶつ壊して
酒飲めなく
してやろうか？

止めて！

ゴクツ



完全にアンタの
趣味でしょうが！
よくこの娘大人しく
付いてきたわね！

しょうがないじゃない
殴り合いされるより
平和でしょ？

そういう問題
じゃないわよ！

うーん……？
やっぱ人間の
感覚としてはダメ？

いい？
そもそも……
こういう行為は……

妖怪って
人間の事判ってるようで
たまに全く判ってない
時あるわよね……

ギョッ



あら？
向こうは
やる気みたいよ？

おい！！

ちよ！？
あんた
何やってんの！

このバカの
いうことなんか
無視して
いいんだってば！

スッ

さっきも言ったけど
「勝負」なら断れないの
そういう種族なのよ



ねえ！
聞きなさいよ！

あ……

は話は聞いてて
分かりましたけど
心の準備が

うお！？

ギョッ

さっわ

かあああ



ちよ！？

ぼろん

あらあら
体は正直ねえ

ニヤニヤ

かほ

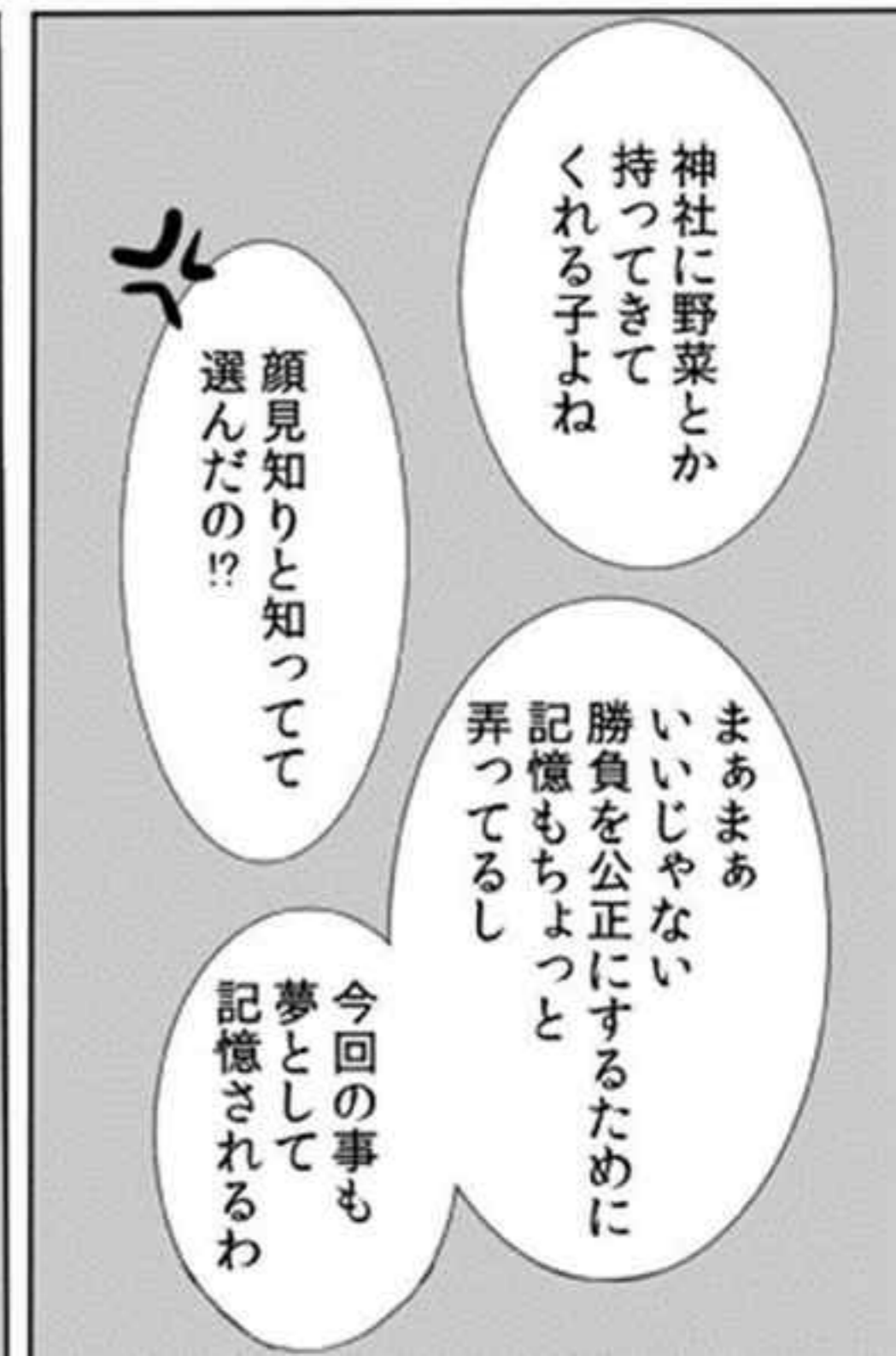


ちなみに勝負方法は 射精させた量♪

先手が有利に ならないように 彼の体も色々 弄ってるわ

あーらら 思ったより 積極的ねえ

おは、





ん

は

ん

ん

お

ん

う

無

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん



ぐがぼっ

あぁあぁあぁ!
もうっ!
わかったわよ!

ドキドキ

そんな娘に負けるわけ
無いじゃない!
やってやるわよ!

ぐいっ

あらあら
ようやくやる気
になったかしら



ここは紫に
唆されたから
仕方なく...

たゆんっ

仕方なく
なんだから...



あやあわわ
無理!
やっぱ無理い!

だって
でもわわわわ

わたし
わたし
何を今更
彼もその気に
なってきたのに
おい...

あああああ

いいから
早よ行け

わひゃ!

えつと私もこういうの初めてで……

胸がおかしいってよく茶化されてその……

そんな事無いっす！むしろ大きくて最高です！

どきどき

かあああ

や……やだ思ってた以上に恥ずかしい

そう……なの？

そそれじゃ触ってもいいですか？

え？ええ初めてだから

ぱんぱん

ゆっく

ひいあ！

ちよちよちよとお！

乳首もコリコリして

あ、ひいああ

むぎむぎ

きゅ

おかしく無いです！

ふえ！

ふにふにでふかふかで

柔らかくて素敵だと思います

きゅ

こどもも触っていいですよね？

え！

ちよちよつとー！さつきより積極的になってる！

ん、ん、ん、ん

くちゅ

ふえええ！



ほえ？

胸で挟んで貰えますか？

はあ...はあ...
こんなに大きいなら

緊張が解れたって
事なのかな
大人しそうな人だと
思ってたのに.....

んく

やっ!
そんなに強く

ちゅぽ
ちゅ

乳首も一緒に
頂きます!

ひいあ!

はっ



初めてだから
上手くできるか
わからないけど

でもあの娘に
負けるわけには.....

こんなの
舐めたり挟んだり
するんだ!

これが...
男の人の...



ひいあ!

お願いします!

ぽろん



私の体で
興奮してるんだ



う...うん

固くて熱くて
ドキドキする

大丈夫です!
もつと体重かけて
ください!

重くない?
大丈夫?

ぎゅむ



こう...かな?

うおつ...
あ...暖かくて
ドツシリとして

ぬ
ちゅ



あの娘の唾液と
精液と混じって
凄い匂い...



胸だけじゃなく
舌も使って...



唾液で濡らして
もつと圧迫して

う……
ふおおおおお！
胸の重さが伝わる！



もう限界です！
口に……出します！

勝負云々より
牝として……
疼かなかった？



気持ちいいです！
舌先が……うお！

あらあら
さつきよりも
積極的ね彼

どう？
見るだけでも
興奮しない？



ところで
さつきの行為の最中



ほうら
「気持ちよくさせる」より
「一緒に気持ちよくなる」
って考えなさい

もつともつと
欲しいって
感じるでしょ？

どうして
欲しいか体で
示してみなさいな



ふふ……
軽い暗示のつもりだったのに
意外と素直なのね

ほら君二人共に
満足させてあげて

ほ本当に
いいんですか？

はあ

体が熱くて熱くて……
牝としての本能が
蹂躞されたいって
全身が訴えてるの

大丈夫
貴方を受け入れる
準備もできてるわ

ビュッ
クワッ

ここで引くなんて
男の子として
ダメでしょう？

はあ

はあ

ドキドキ

ドキドキ

はあ



さあ
どっちの娘から？

そそそそ
それじゃ黒服の
無口な女の子から……

はあ

はあ

はあい
いい返事ね♪

優しくして
あげなさいね

ちゅっ

くちゅ

充分濡れてるわ
焦らないで
ゆっくり挿入して……

クワッ



あー

あーん

あーん

あーん



ほらほら
もつと激しく
締め付けなきゃね

あらあ
いい声ね

どう？
挿入された
感想は？

くっ...

ぱぱぱ

ぱぱ



……っ
普段殆ど声なんて
出さない奴なのに
こんなに喘いで……



凄……
しくて最……高っ！

このまま
膣内に……ッ！



純粋に気持ちよく
なってるんだ……

ルルル



見てるだけで
体が疼いて……
私……私……

はー！

あの……っ！

わ！
私も！

私も……あの娘みたいに



はー……



私も……
その……あの……

一生懸命気持ち良く
するから……

こんなに濡れてる……
恥ずかしいけど
我慢できない

い言われなくても
我慢なんて
できませんっ！

それとも
私の体じゃ……
魅力……無いかな？

ドキ

ドキ

ドキ

ドキ

ドキ
あめあめ
かあ

くちゅ

はよ
トロ……

あめ
あめ



入っちゃった……た……



無理！無理！
——こんな……
——ッ!?



中……こすれて
気持ちよくなって



その後……
色々……順番に
してみたけど
ちよつと
頑張りすぎたのか

無……無理！
もう限界……です……

意……識……が……

そのまま気絶

勝負については
紫曰く
0.1ml差で
私の勝ちとの事
その……夢中に
なってしまったので
すっかり忘れてた

これ以上させると
本当に死んでしまい
そうだったので
紫に相談すると

じゃあ代理のを
もう2〜3体

とりあえず二人共
ぶん殴って止めた

結局この娘もあつさり
負けを認めた

ただ勝負後も体の
火照りが
収まらなかつたらしく

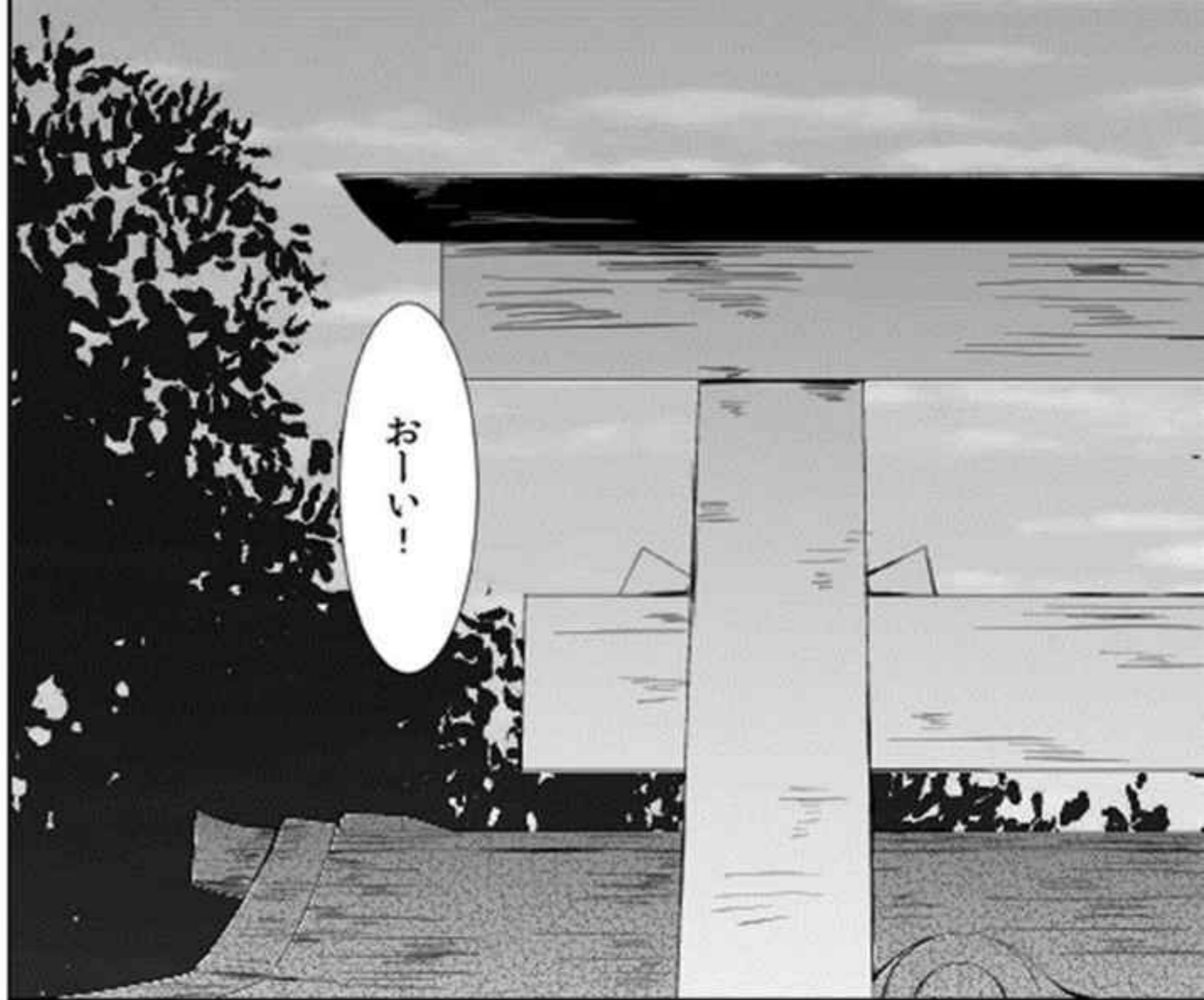
結局この一件以来
この娘が戦いを
挑んでくる事は無く

彼も記憶を弄られて
家に戻された

私も再び
博麗の巫女としての
いつもの生活に――



ああいたいた
もうすぐ夕飯できるわよ



おーい!



紫も色々頑張っているが
送還の目処は立っていない

幸い勝負事に負けたら
従うという別世界のルールに
影響されているらしく
今の所大人しいので
私は別に構わないが



相変わらず
喋らないわね……
まあ意思疎通できるから
いいけどさ

元の世界には
未だに戻せず
しばらくこちらで
預かることになった

門番でもさせたら?
と紫から言われたが
参拝客が減るだけなので
日常の雑務を手伝って
貰っている



正直に謝って……

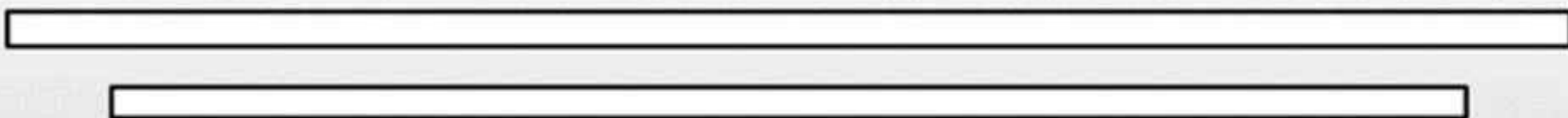
あの男の子も
変わらず時々来てくれるが
あの夜の事は
話せないまま

あんな事に巻き込んで
正直に謝りたいんだけど



冷めないうちに
食べちやいなさい

食べたら食器は自分で
片付けること



今度は……
勝負とかじゃなくて……



あとがき

「喋らない」という
独自設定を付けて
しまったせいで
色々と困りました
無理に前に描いたのと
繋げずに普通の
遊廓モノとして
描いとけば良かったと
描き終わってから
気付く

遊廓モノだったら
他のmugenキャラで
パネルマジックネタを
オチにできたのに

※パネルマジック

えっちいお店で従業員の
写真を加工すること